♦ 安全･安心のまちをめざして ♦

交通安全のまとめ

令和 6 年版

(令和 5 年交通統計)

この道を
大人になっても　歩きたい

令和６年度　道路ふれあい月間
推進標語　道路愛護部門
最優秀賞
清新第一中学校　渡辺　睦久さん

もしものために
わたしはかぶる　ヘルメット

令和６年度　道路ふれあい月間
推進標語　交通安全部門
最優秀賞
第七葛西小学校　石井　咲妃さん

令和 6 年８月

江 戸 川 区

はじめに

昨年中の全国の交通事故による死者は２，６７８人（前年比＋６８人）で、最も多かった昭和４５年（１６，７６５人）の６分の１以下に減少しました。負傷者数は３６５，５９５人で、前年から８，９９４人増加しました。

一方、本区の令和５年の交通事故発生状況をみると、１，３５３件と４２件（３．１％）減少しました。その内、自転車が関与している交通事故が７３２件あり、５割強を占めています。

自転車は環境にやさしく手軽で便利な乗り物であり、平坦な地形の江戸川区においては、主要な交通手段として幅広い世代に利用されていますが、自転車利用者の信号無視や一時不停止など、ルールやマナーに課題がみられる状況となっています。

交通安全の基本は、「思いやりと譲りあい」「交通ルールの遵守、正しい交通マナー」の日々の実践です。

交通事故を無くすためには、交通安全対策はもとより区民一人ひとりが、交通安全を自らの問題として考え行動する日々の積み重ねが大切です。

この「交通安全のまとめ」は、令和５年の区内の交通事故実態と交通安全対策の現況をまとめたものです。「交通事故のない、安全で安心して生活できるまち」を目指して、命の大切さを考える契機にしていただければ幸いです。

本書の作成にあたり、各種資料の提供にご協力いただきました皆さまに、厚くお礼申し上げます。

令和６年８月

土　木　部

用 語 の 意 味

交 通 事 故 ------ 道路交通法第２条第１項第１号に規定されている道路において、車両、路面電車及び列車（軌道車）の交通によって起こされた人の死亡、または負傷を伴った事故及び物的損害を伴った事故をいいます。
　但し、本書においては特に注釈のあるものを除いて、区内三警察署（小松川・葛西・小岩）の人身事故のみを掲載しています。

人 身 事 故 ------ 交通事故により人の死傷があったものをいいます。

死　　亡 ------ 交通事故発生から 24 時間以内に死亡したものをいいます。

重　　傷 ------ 交通事故により加療日数が 30 日以上の負傷をいいます。

軽　　傷 ------ 交通事故により加療日数が 30 日未満の負傷をいいます。

当　事　者 ------ 交通事故に関係したものをさし、車両が関係した事故の運転者については、運転中の車両を当事者といいます。

第 1 当 事 者 ------ 過失（違反）がより重いか、又は、過失（違反）が同程度の場合にあっては、被害がより小さい方の当事者をいいます。（※１当）

第 2 当 事 者 ------ 過失（違反）がより軽いか、又は、過失（違反）が同程度の場合にあっては、被害がより大きい方の当事者をいいます。（※２当）

歩行者の事故 ------ 歩行中の人のほか、路側に立っていた人、路上作業、路上遊戯中の者が関係した事故をいいます。

若年層の事故 ------ 中学校卒業（16 歳）から 25 歳未満までの年齢層の者が、関係した事故をいいます。

熟年者の事故 ------ 年齢 60 歳以上の者が、関係した事故をいいます。

※ 円グラフの値（%）は、小数点以下四捨五入により合計が 100（%）にならない場合があります。
　また、他市区からの参入出があるため、警察三署から提出された数値の合計と異なる場合があります。

目　　次

Ⅰ　江戸川区の交通環境

1　人　口 ---------- 1
2　道路の状況 ---------- 1
3　自動車保有台数 ---------- 2
4　運転免許保有者数 ---------- 3

Ⅱ　交通事故の概要

1　江戸川区の交通事故

(1) 交通事故の概要 ---------- 4
(2) 死亡事故状況 ---------- 5
(3) 月別事故発生状況 ---------- 6
(4) 時間帯別事故発生状況 ---------- 6
(5) 年齢層別事故当事者の状況 ---------- 7
(6) 車両別事故当事者の状況 ---------- 8
(7) 車両側(原付以上)の違反---------- 9
(8) 歩行者の違反 ---------- 9
(9) 子どもの交通事故(0 歳から中学生まで) --- 10
(10) 若年層の交通事故(16 歳から 25 歳未満)--11
(11) 熟年者の交通事故(60 歳以上)---------- 12
(12) 歩行者の交通事故---------- 13
(13) 自転車の交通事故---------- 14
(14) 二輪車の交通事故---------- 15

2　東京都の交通事故

(1) 10 年間の交通事故発生状況---------- 16
(2) 23 区の交通事故発生状況---------- 17

3　全国の交通事故

(1) 10 年間の交通事故発生状況---------- 18
(2) 前年対比の交通事故発生状況 ---------- 18
(3) 全国の交通事故発生件数上位 10 位の状況 19

Ⅲ　交通安全対策

1　交通安全対策の体系 ----------20

2　交通安全対策の推進
(1) 江戸川区交通安全連絡協議会 ----------21
(2) 交通安全協会への補助 ----------21

3　道路交通環境等の整備
(1) 道路の現況 ----------21
(2) 道路環境の整備 ----------22
(3) 交通安全施設の整備 ----------22
(4) 交通規制の現況 ----------22
(5) 違法駐車対策の推進 ----------23
(6) 自転車対策 ----------25
(7) 交通事故防止対策の要望対応状況 ----------26
(8) 交通安全資器材の交付状況 ----------26
(9) 交通安全教育の推進 ----------26

4　交通安全教育の普及徹底と広報活動の充実
(1) 交通安全教育の基本と事業の推進状況 -----27
(2) 春・秋の全国交通安全運動 ----------30

Ⅳ　交通事故救済業務

1　救急・救助活動等
(1) 交通事故救急出動件数及び救護人員 --------31
(2) 応急救護知識・技術の講習会受講者数 -----31

2　交通事故相談の概要
(1) 相談件数の年次別推移 ----------32
(2) 月別相談件数 ----------32
(3) 相談者の内訳 ----------33
(4) 新規相談の内容（その１） ----------33
(5) 新規相談の内容（その２） ----------34
(6) 新規来室相談者の当事者別件数 ----------34

3　区民交通傷害保険
(1) 令和 5 年度区民交通傷害保険の加入状況について--------35

Ⅰ　江戸川区の交通環境

1 人　口

江戸川区の人口(外国人含む)は、令和6年1月1日現在689，961人(23区中第3位)で、前年より1，808人減少しました。

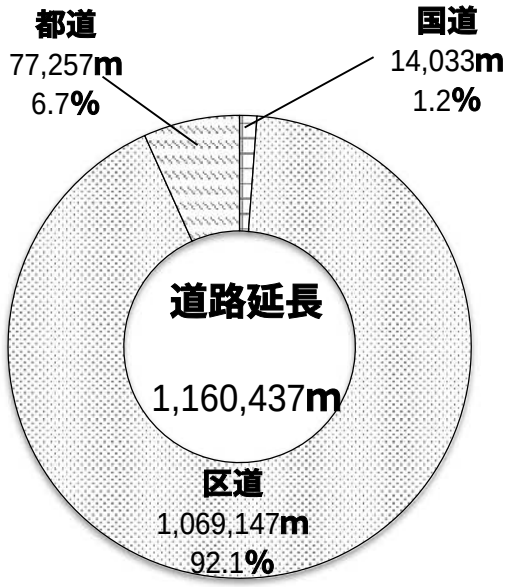
年齢構成では、年少人口（0～14歳）は81，140人で11．8%(対人口比で23区中第7位)、生産年齢人口（15～64歳）は461，921人で66．9%（23区中第16位）、老年人口（65歳以上）は146，900人で21．3%（23区中第8位)です。5年中の出生数は4，465人で、23区中第3位です。

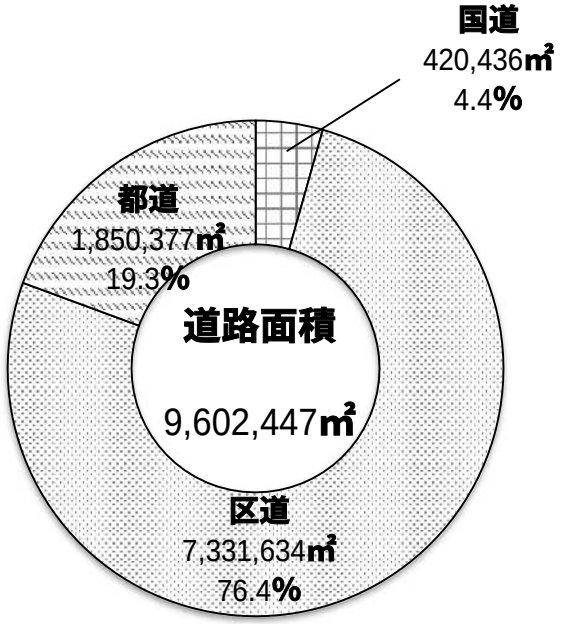
人　　口	689,961人
	男性　347,127人 女性　342,834人
面　　積	49.09㎢
人口密度	14,055人/㎢
平均年齢	44.97歳

表＝区･住民基本台帳および都公式ホームページより

2 道路の状況

区内の道路延長は国道･都道･区道合わせて1，160，437mで、道路面積は9，602，447㎡です。 区面積のうち、道路が占める割合（道路率）は、19．6% で、特別区の平均16.7%を上回っています。





3　自動車保有台数

区内の自動車保有台数は、15年連続で減少しています。
構成率では、乗用車の61．1%、次いで貨物自動車の17.6%、二輪車の17．2%の順になっています。

《車種別車両保有台数の５年間の推移》　(台)

種別＼年			令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
総数			251,334	249,862	248,690	248,191	248,044
乗用車	普通・小型		132,339	131,321	130,758	129,942	129,203
	軽乗用		21,120	21,217	21,557	22,002	22,314
	乗用計		153,459	152,538	152,315	151,944	151,517
	構成率		61.06%	61.05%	61.25%	61.22%	61.08%
貨物自動車	普通・小型		31,549	31,590	31,389	31,203	31,147
	軽貨物		11,907	12,131	12,192	12,268	12,395
	三輪車		1	1	1	1	1
	貨物計		43,457	43,722	43,582	43,472	43,543
	構成率		17.29%	17.50%	17.52%	17.52%	17.55%
二輪車	原付	50ｃｃ以下	17,282	16,327	15,504	14,997	14,630
		51～90ｃｃ	1,591	1,510	1,482	1,434	1,391
		91～125ｃｃ	9,974	10,043	10,042	10,349	10,587
	二輪車250ｃｃ		8,181	8,137	8,173	8,259	8,440
	二輪車小型車		6,984	7,119	7,227	7,380	7,504
	二輪計		44,012	43,136	42,428	42,419	42,552
	構成率		17.51%	17.26%	17.06%	17.09%	17.16%
特殊車・その他	バス		1,116	1,107	1,031	1,009	989
	特殊用途車		8,250	8,344	8,357	8,398	8,527
	小型特殊	農耕用	109	93	90	90	90
		その他	931	922	887	859	826
	特殊その他計		10,406	10,466	10,365	10,356	10,432
	構成率		4.14%	4.19%	4.17%	4.17%	4.21%

国土交通省関東運輸局市区町村別自動車保有車両数(各年３月末日現在)

統計江戸川（各年４月１日現在）

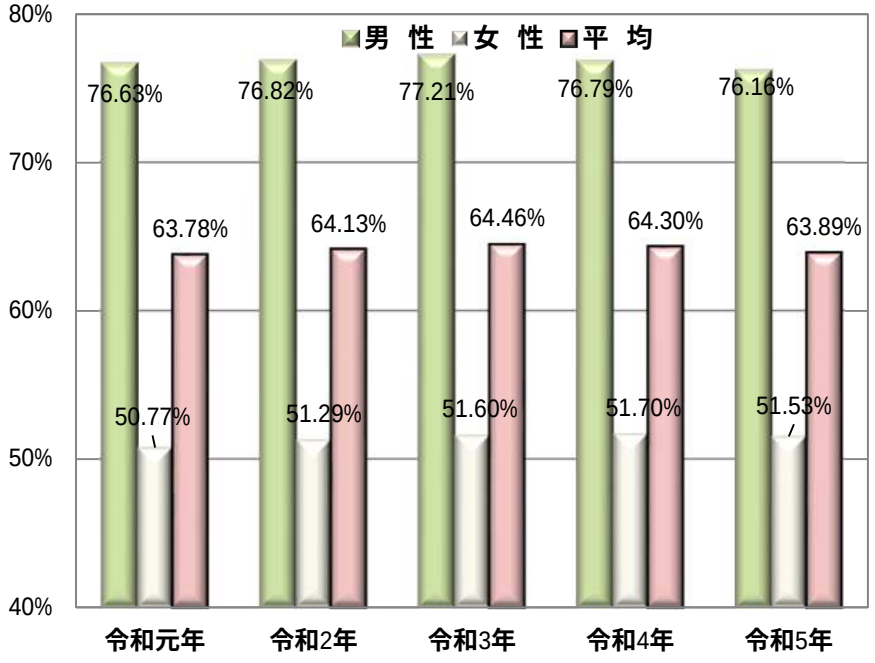
4　運転免許保有者数

《男女別免許保有者数》

項　目	性 別	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
前年末免許保有者数	男 性	233,033	232,883	232,060	231,001	230,398
	女 性	152,429	153,646	153,716	154,152	154,674
	合 計	385,462	386,529	385,776	385,153	385,072
16才以上人口（1月1日）	男 性	304,087	303,155	300,562	300,812	302,515
	女 性	300,249	299,575	297,927	298,156	300,154
	合 計	604,336	602,730	598,489	598,968	602,669
免許証保有率	男 性	76.63%	76.82%	77.21%	76.79%	76.16%
	女 性	50.77%	51.29%	51.60%	51.70%	51.53%
	平 均	63.78%	64.13%	64.46%	64.30%	63.89%

警視庁交通年鑑、統計江戸川より

《16歳以上の人口に対する運転免許保有率》



Ⅱ　交通事故の概要

1 江戸川区の交通事故

⑴ 交通事故の概要

令和5年中の交通事故は次のとおりです。

事故件数	1,353件	前年比	-42 件	(-3.1%)
死 者 数	8人	前年比	+4 人	(+100%)
重傷者数	113人	前年比	+15 人	(-1.6%)
軽傷者数	1,406人	前年比	-40 人	

警視庁提供交通事故統計資料より

① 10年間の事故状況と人口、車両数

区 年	事故件数(件)	死者数(人)	重傷者(人)	軽傷者数(人)	負傷者数(人)	区人口(人)	区車両数(台)
平成26年	1,265	9	10	1,470	1,480	680,262	255,411
27年	1,236	10	13	1,380	1,393	686,387	254,453
28年	1,189	6	15	1,347	1,362	691,514	253,871
29年	1,395	12	71	1,506	1,577	695,366	252,706
30年	1,795	11	155	1,859	2,014	698,031	251,803
令和元年	1,697	5	140	1,748	1,888	700,079	251,334
2年	1,388	5	97	1,449	1,546	696,123	249,862
3年	1,321	7	80	1,405	1,485	689,739	248,690
4年	1,395	4	98	1,446	1,544	688,153	248,191
5年	1,353	8	113	1,406	1,519	689,961	248,044

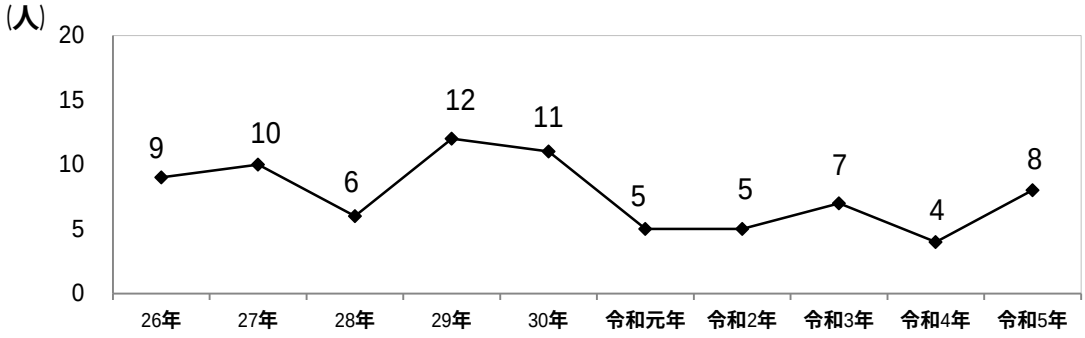
車両数は統計江戸川(各年4月1日)より

※ 区人口は、翌年の1月1日現在(令和5年欄は令和6年1月1日現在)

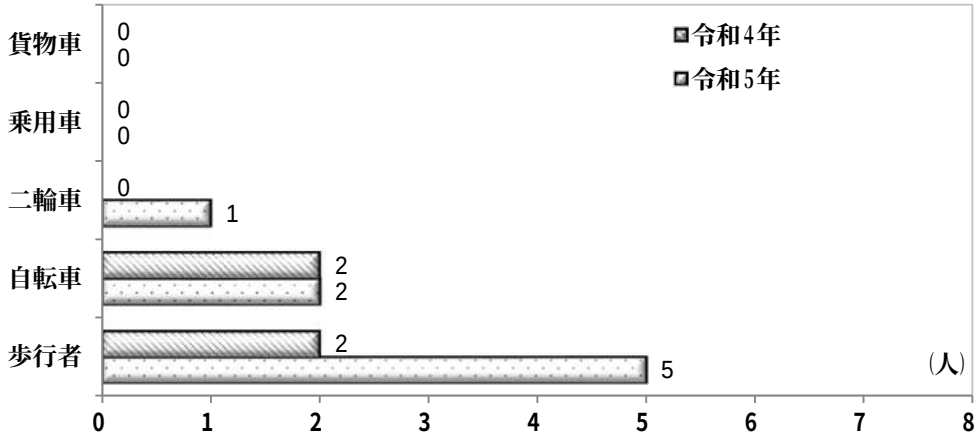
(2) 死亡事故状況

死者数8名のうち、歩行者が関与する死者数は5名です。

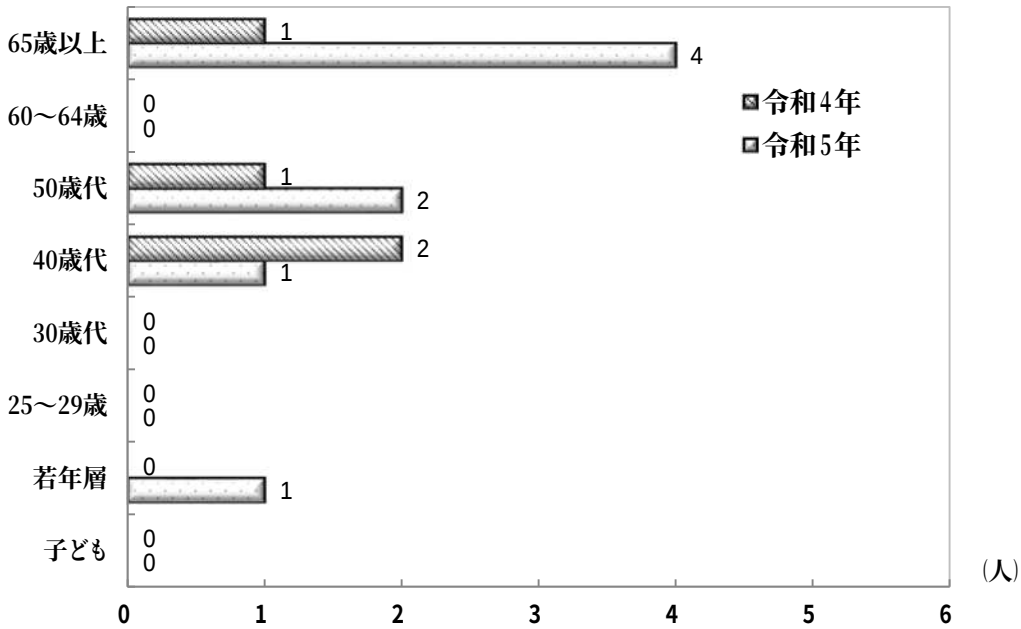
① 死者数年次推移



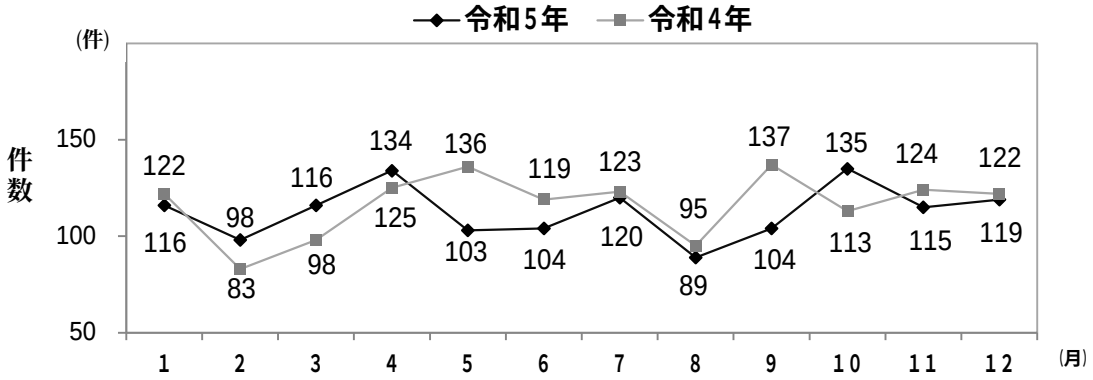
② 死者数当事者別状況



③ 死者数年齢層別状況

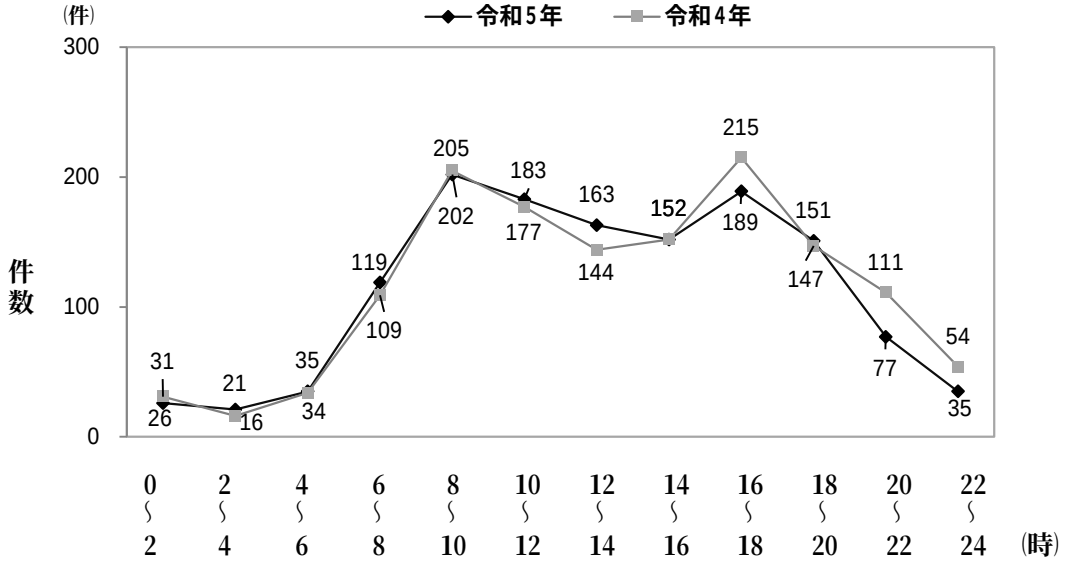


(3) 月別事故発生状況



区分＼月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
件数	116	98	116	134	103	104	120	89	104	135	115	119	1,353
死者数	2	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	2	8
重傷者数	10	13	11	11	8	7	15	7	6	6	10	9	113
軽傷者数	111	100	123	143	105	103	117	92	116	143	129	124	1,406

(4) 時間帯別事故発生状況



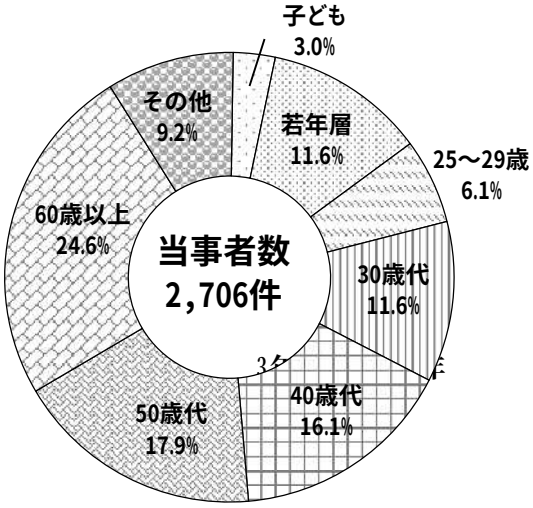
時間帯＼区分	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
件数	26	21	35	119	202	183	163	152	189	151	77	35	1,353
死者数	2	1	0	2	0	0	1	0	2	0	0	0	8
重傷者数	1	3	1	13	18	19	11	11	10	13	9	4	113
軽傷者数	25	22	37	118	214	197	174	154	202	150	76	37	1,406

(昼夜別発生状況)

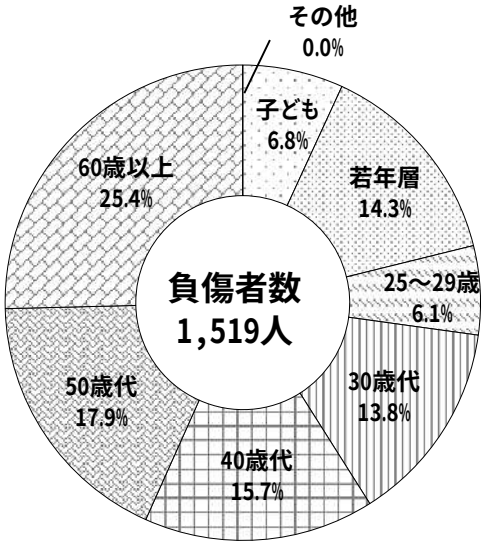
	昼			夜		
	件数	死者数	負傷者数	件数	死者数	負傷者数
令和5年	985	3	1,114	368	5	405
令和4年	968	2	1,072	427	2	472
増減数	+17	+1	+42	-59	+3	-67
増減率	+1.8%	+50.0%	+3.9%	-13.8%	+150.0%	-14.2%

⑸ 年齢層別事故当事者の状況

※当事者数は第1･2当事者数を計上



年齢別事故当事者の割合



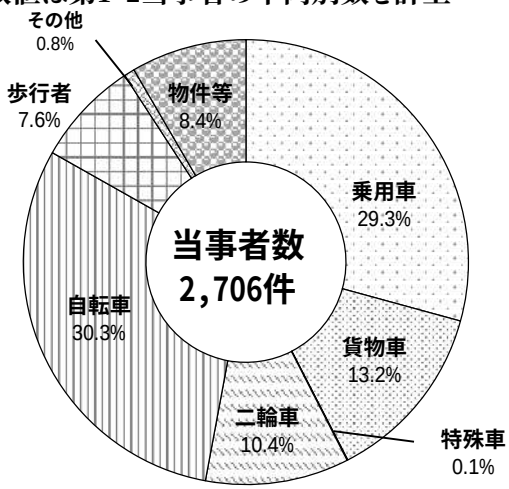
年齢別事故負傷者の割合

	子ども				若年層				25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	熟年者		その他	合計
	幼園児	小学生	中学生	小計	高校生	16～19歳	20～24歳	小計					60～64歳	65歳以上		
当事者数	6	56	19	81	89	48	177	314	166	313	435	484	158	507	248	2,706
死者数	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	2	0	4	0	8
重傷者数	1	1	0	2	4	3	6	13	3	11	21	19	2	42	0	113
軽傷者数	26	58	18	102	67	33	104	204	89	199	217	253	68	274	0	1,406

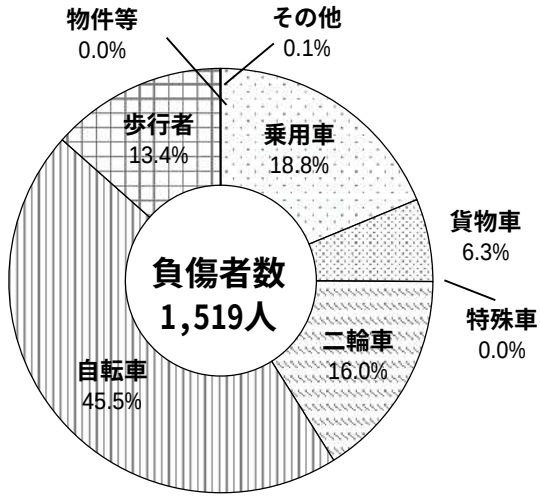
※死者数、重傷者数及び軽傷者数には、車両の同乗者等を含む。

⑹ 車両別事故当事者の状況

※数値は第1･2当事者の車両別数を計上



車両別事故当事者の割合



車両別事故の負傷者の割合

	乗用車	貨物車	特殊車	二輪車			自転車	歩行者	その他	物件等	合計
				自動二輪	原付	小計					
当事者数	792	356	2	187	95	282	819	207	21	227	2,706
死者数	0	0	0	1	0	1	2	5	0	0	8
重傷者数	6	3	0	16	6	22	58	24	0	0	113
軽傷者数	279	93	0	147	74	221	633	179	1	0	1,406

※死者数、重傷者数及び軽傷者数には、車両の同乗者等を含む。

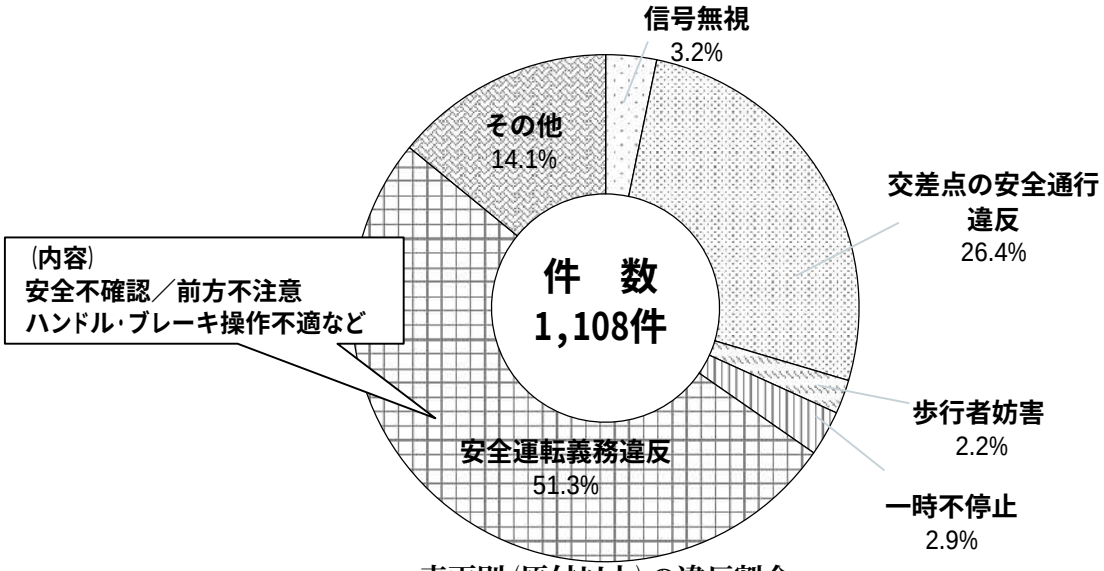
(7) 車両側（原付以上）の違反

※件数は第1･2当事者数を計上

発生件数は前年の1，104件から4件（昨年比+0．4%）増加し1，108件。

「安全運転義務違反」と「交差点の安全通行違反」が、発生件数の77．6%を占めています。

	信号無視	交差点の安全通行違反	歩行者妨害	一時不停止	安全運転義務違反	その他							合計
						最高速度違反	右折違反	左折違反	優先通行違反	徐行違反	酒酔い	その他	
件　数	36	292	24	32	568	0	1	0	10	10	4	131	1,108
死者数	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	2	6
重傷者数	2	17	7	3	23	0	0	0	7	0	2	12	73
軽傷者数	39	225	18	35	585	0	1	0	4	6	6	109	1,028



車両別（原付以上）の違反割合

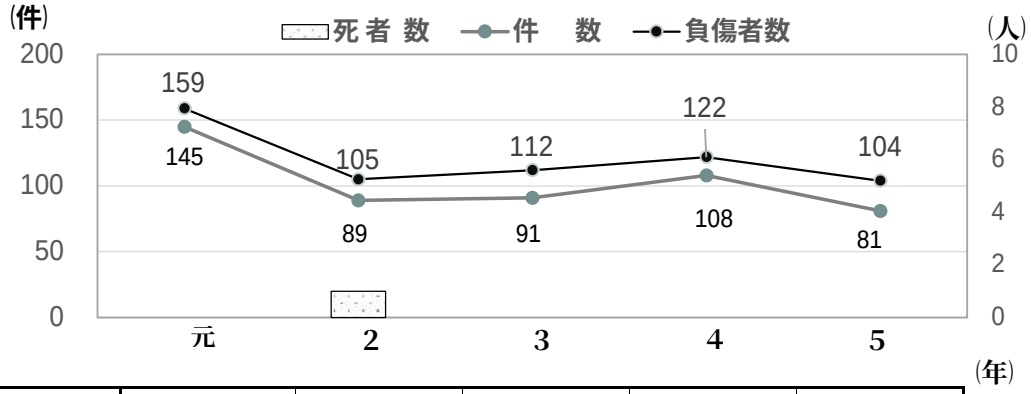
(8) 歩行者の違反

※件数は第1･2当事者数を計上

	信号無視	横断歩道外横断	横断禁止場所横断	その他横断違反	酩酊・徘徊	飛び出し	その他違反	違反なし	合計
件　数	3	4	1	1	3	7	2	186	207
死者数	2	0	0	0	3	0	0	0	5
重症者数	1	2	0	0	0	0	1	20	24
軽傷者数	0	2	1	1	0	7	1	167	179

(9) 子どもの交通事故（0歳から中学生まで）
※件数は第1･2当事者数を計上

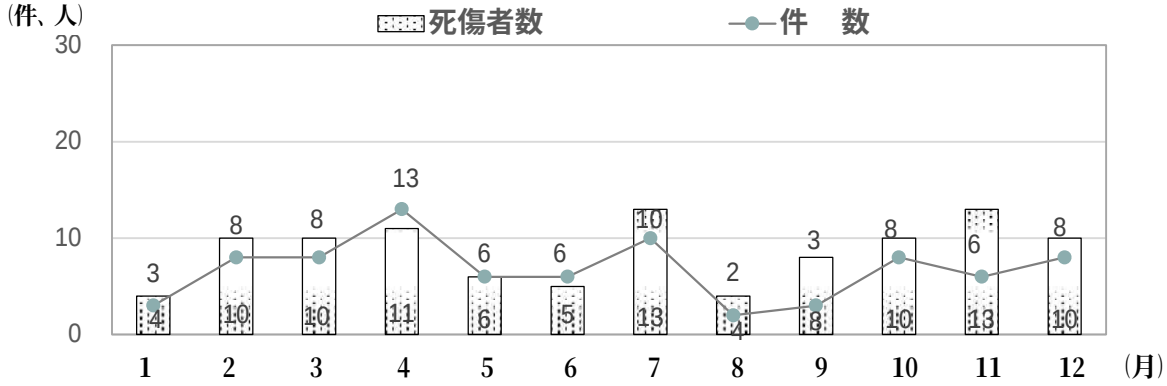
① 5年間の交通事故発生状況



	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
件　　数	145	89	91	108	81
死 者 数	0	1	0	0	0
負傷者数	159	105	112	122	104

※負傷者数は、重傷者と軽傷者の合計数

②月別事故発生状況

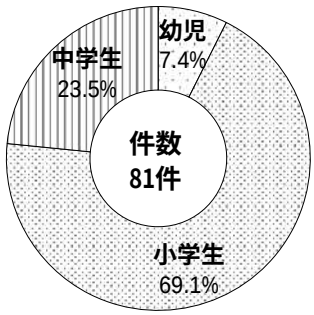


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件　　数	3	8	8	13	6	6	10	2	3	8	6	8	81
死 者 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重傷者数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
軽傷者数	4	9	10	11	6	5	13	4	8	10	13	9	102

※死傷者数は、死者数と負傷者数の合計数

③ 年齢層別事故発生状況

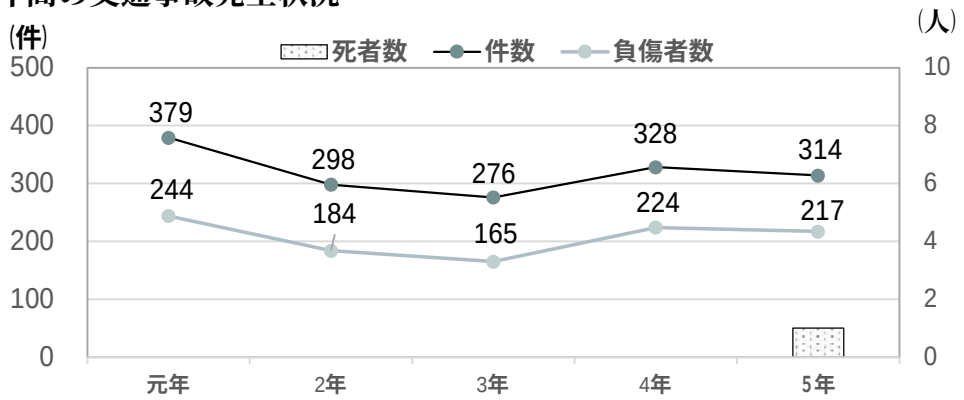
	幼児	小学生	中学生	合計
件　　数	6	56	19	81
死 者 数	0	0	0	0
重傷者数	1	1	0	2
軽傷者数	26	58	18	102



子どもの交通事故発生割合

(10) 若年層の交通事故（16歳から25歳未満）
※件数は第1･2当事者数を計上

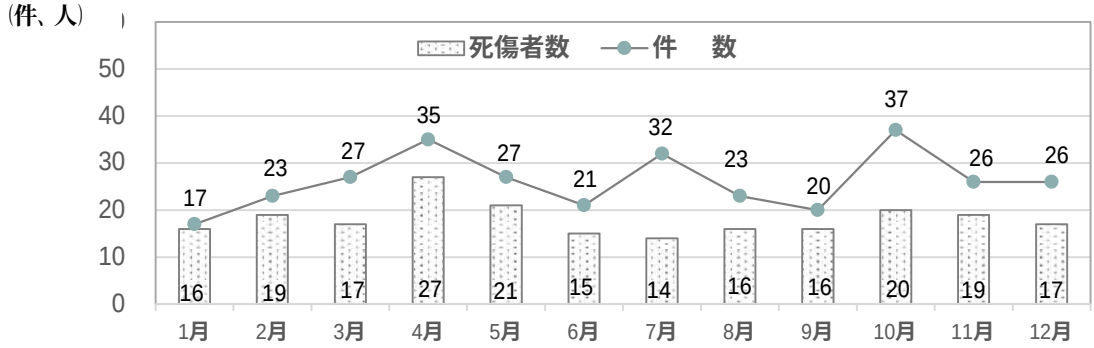
①５年間の交通事故発生状況



	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
件　　数	379	298	276	328	314
死 者 数	0	0	0	0	1
負傷者数	244	184	165	224	217

※負傷者数は、重傷者と軽傷者の合計数

②月別事故発生状況

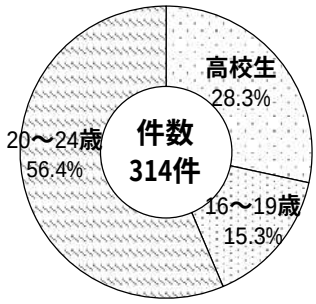


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件　　数	17	23	27	35	27	21	32	23	20	37	26	26	314
死 者 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
重傷者数	0	1	0	1	0	1	2	0	0	0	1	2	8
軽傷者数	16	18	17	26	21	14	12	16	16	20	18	15	209

※死傷者数は、死者数と負傷者数の合計数

③ 年齢層別事故発生状況

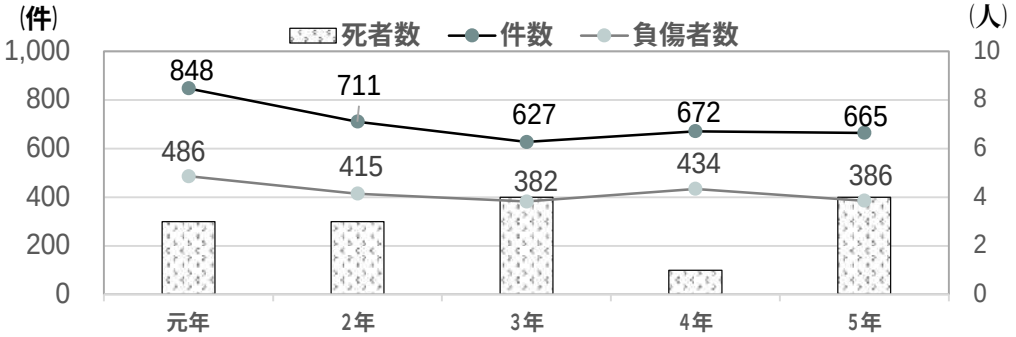
	高校生	16～19歳	20～24歳	合計
件　　数	89	48	177	314
死 者 数	0	0	1	1
重傷者数	4	3	6	13
軽傷者数	67	33	104	204



若年層の交通事故発生割合

(11) 熟年者の交通事故 (60歳以上)
※件数は第1･2当事者数を計上

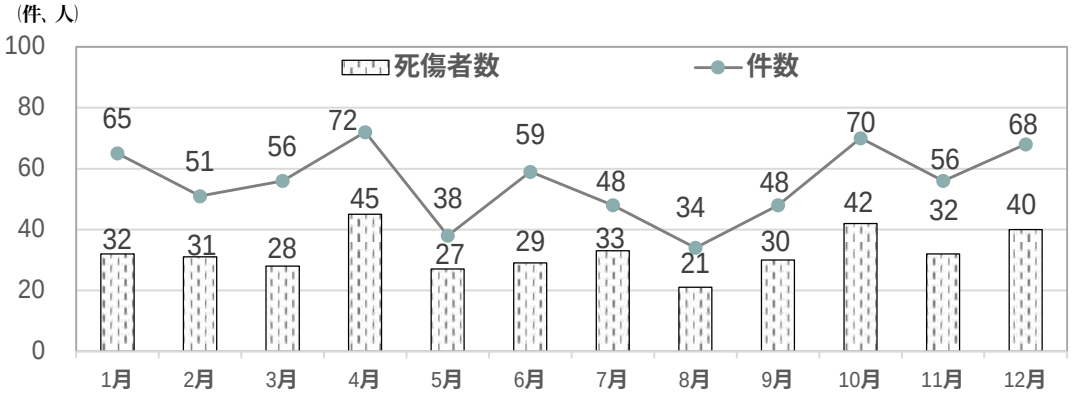
① 5年間の交通事故発生状況



	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
件　　数	848	711	627	672	665
死 者 数	3	3	4	1	4
負傷者数	486	415	382	434	386

※負傷者数は、重傷者と軽傷者の合計数

②月別事故発生状況

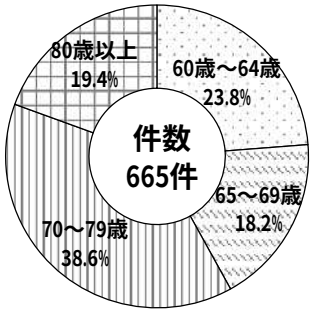


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件　　数	65	51	56	72	38	59	48	34	48	70	56	68	665
死 者 数	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4
重傷者数	3	5	3	2	4	2	3	1	2	0	2	2	29
軽傷者数	27	26	25	43	23	27	29	20	28	42	30	37	357

※死傷者数は、死者数と負傷者数の合計数

③年齢層別事故発生状況

	60～64歳	65～69歳	70～79歳	80歳以上	合計
件　　数	158	121	257	129	665
死 者 数	0	0	2	2	4
重傷者数	2	6	24	12	44
軽傷者数	68	60	126	88	342

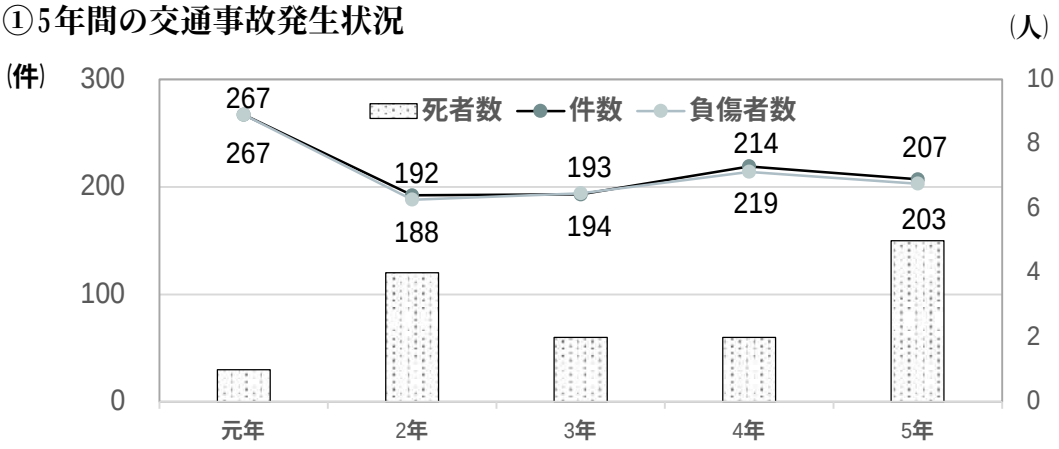


熟年者の交通事故発生割合

⑿ 歩行者の交通事故

※件数は第1･2当事者数を計上

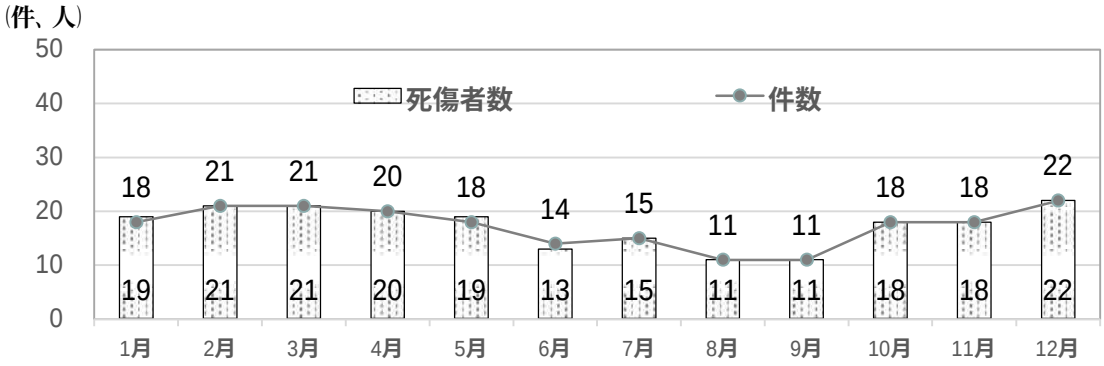
①5年間の交通事故発生状況



	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
件　　数	267	192	193	219	207
死 者 数	1	4	2	2	5
負傷者数	267	188	194	214	203

※負傷者数は、重傷者と軽傷者の合計数

②月別事故発生状況

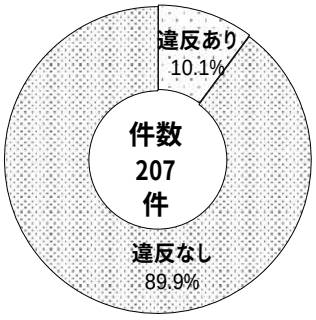


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件　　数	18	21	21	20	18	14	15	11	11	18	18	22	207
死 者 数	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	5
重傷者数	1	3	0	2	3	1	1	2	0	0	2	2	17
軽傷者数	17	18	21	18	16	12	13	8	11	18	15	19	186

※死傷者数は、死者数と負傷者数の合計数

③歩行者違反内訳

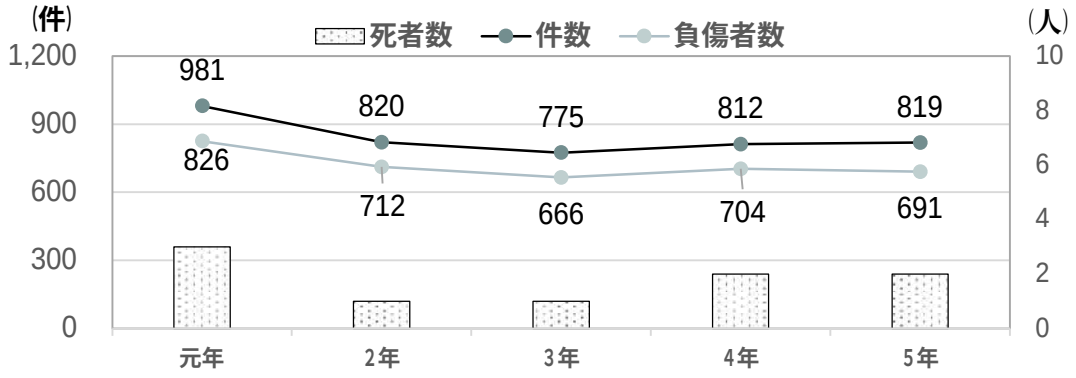
	第1当事者	第2当事者	合計
違反あり	5	16	21
違反なし	0	186	186



歩行者の交通事故の違反割合

(13) 自転車の交通事故
※件数は第1・2当事者数を計上

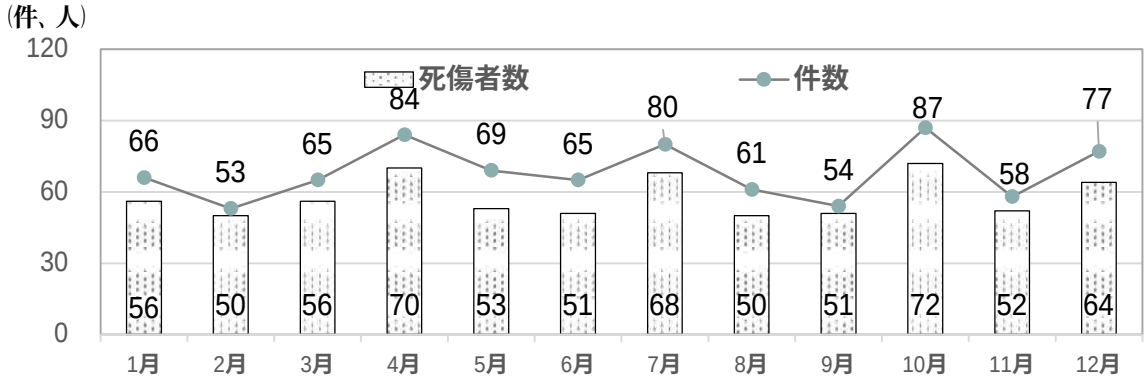
① 5年間の交通事故発生状況



	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
件　　数	981	820	775	812	819
死 者 数	3	1	1	2	2
負傷者数	826	712	666	704	691

※負傷者数は、重傷者と軽傷者の合計数

②月別事故発生状況

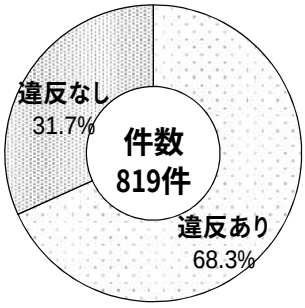


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件　　数	66	53	65	84	69	65	80	61	54	87	58	77	819
死 者 数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
重傷者数	4	3	3	2	3	2	5	2	3	3	3	3	36
軽傷者数	51	47	53	68	50	49	63	48	48	69	49	60	655

※死傷者数は、死者数と負傷者数の合計数

③自転車違反内訳

	第1当事者	第2当事者	合計
違反あり	372	187	559
違反なし	0	260	260

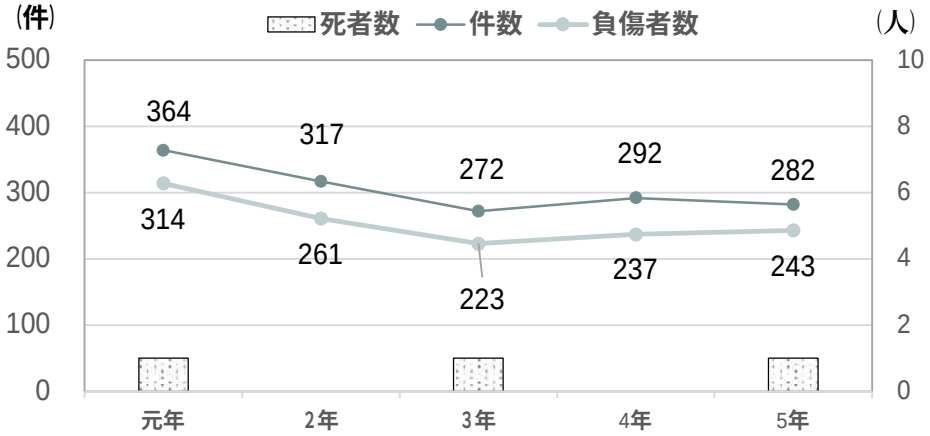


自転車の違反割合

(14)二輪車の交通事故

※件数は第1・2当事者数を計上

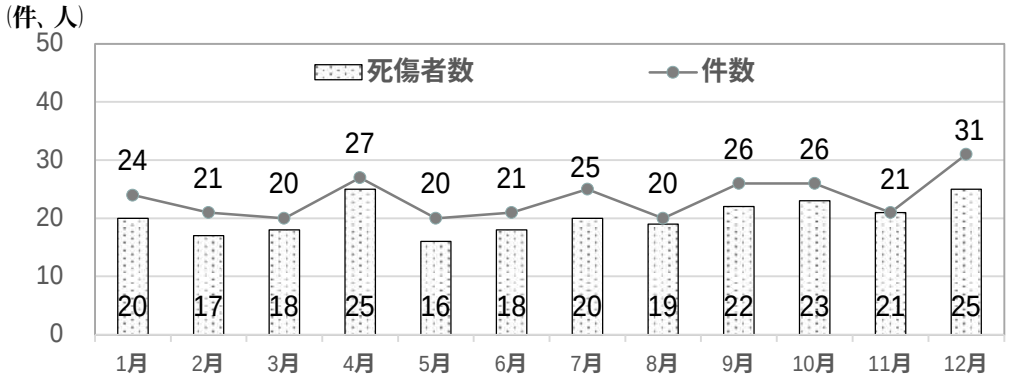
①５年間の交通事故発生状況



	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
件　　数	364	317	272	292	282
死 者 数	1	0	1	0	1
負傷者数	314	261	223	237	243

※負傷者数は、重傷者と軽傷者の合計数

②月別事故発生状況

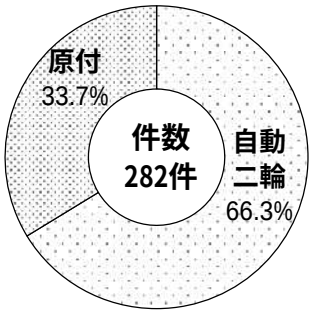


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件　　数	24	21	20	27	20	21	25	20	26	26	21	31	282
死 者 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
重傷者数	0	1	0	1	0	3	1	2	2	0	3	4	17
軽傷者数	20	16	18	24	16	15	19	17	20	22	18	21	226

※死傷者数は、死者数と負傷者数の合計数

③種別事故発生状況

	自動二輪	原付	合計
件　　数	187	95	282
死 者 数	1	0	1
重傷者数	16	6	22
軽傷者数	147	74	221



二輪車の種別交通事故発生割合

2 東京都の交通事故

(1)10年間の交通事故発生状況

近年、発生件数・負傷者数は減少傾向にあります。
令和５年の死者数は、前年より４人増加し、１３６人になりました。

	平成26年	27年	28年	29年	30年
件数	37,184	34,274	32,412	32,763	32,590
死 者 数	172	161	159	164	143
負傷者数	43,212	39,931	37,828	37,994	37,443
	令和元年	２年	３年	４年	５年
件数	30,467	25,642	27,598	30,170	31,385
死 者 数	133	155	133	132	136
負傷者数	34,777	28,888	30,836	33,429	34,870

（２）23区の交通事故発生状況

① 23区別交通事故発生状況

	発生件数	自転車関与件数	死者数	重傷者数	軽傷者数
江戸川区	**1,353**	**819**	**8**	**113**	**1,406**
千代田区	618	186	1	25	674
中央区	716	325	1	61	727
港　区	1,204	411	5	86	1,262
新宿区	1092	454	7	57	1142
文京区	469	211	1	26	478
台東区	693	352	5	46	707
墨田区	620	344	4	37	637
江東区	1,230	703	6	71	1,273
品川区	986	509	2	52	1026
目黒区	685	242	2	36	704
大田区	1,583	937	11	72	1,647
世田谷区	1,759	954	9	86	1,855
渋谷区	860	364	4	62	876
中野区	682	458	1	34	690
杉並区	1,021	605	7	66	1063
豊島区	578	307	1	22	589
北　区	668	437	0	57	682
荒川区	352	259	2	34	347
板橋区	1,004	545	6	60	1059
練馬区	1,019	580	8	63	1,058
足立区	1,891	1117	8	85	1,982
葛飾区	835	533	3	50	857
合　計	21,918	11,652	102	1,301	22,741

東京の交通事故より

②交通事故発生件数順位

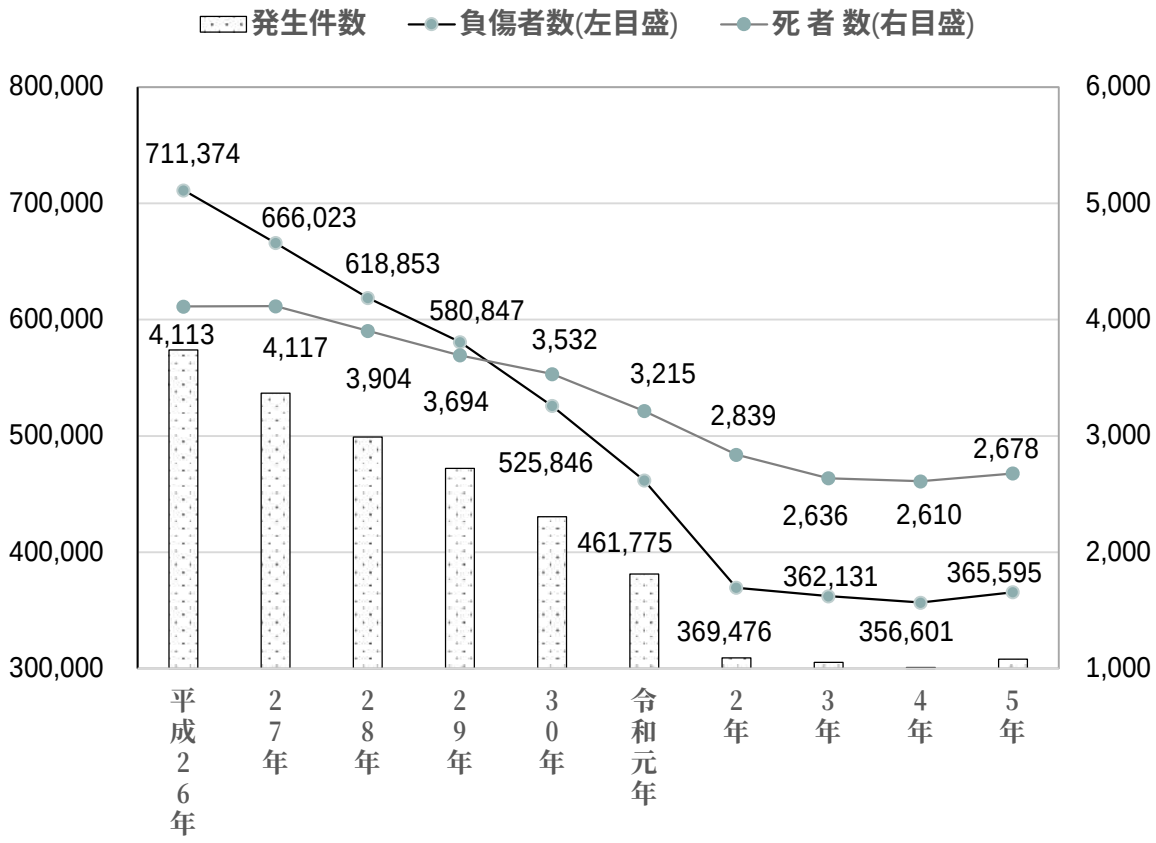
	1位	2位	3位	4位	5位
令和5年	足立 1,891	世田谷 1,759	大田 1,583	八王子 1,394	**江戸川 1353**
令和4年	足立 1,859	世田谷 1,771	大田 1,426	**江戸川 1,395**	八王子 1,283
令和3年	足立 1,654	世田谷 1,652	大田 1,400	**江戸川 1,321**	八王子 1,285
令和2年	世田谷 1,532	足立 1,499	**江戸川 1,388**	大田 1,259	練馬 1,006
令和元年	世田谷 1,940	足立 1,767	**江戸川 1,697**	大田 1,332	港 1,256

区市町村別各種交通事故発生状況(令和5年中)より
※高速隊等の本部扱いを除く

3　全国の交通事故

(1)　10年間の交通事故発生状況

令和5年の死者数は、2，678人で前年より68人増加しました。
発生件数･負傷者数それぞれ307，930件（＋2．4％）、
365，595件（＋2．5％）となっています。



(2)前年対比の交通事故発生状況

件数･死者数･負傷者数ともに減少しています。

	令和4年	令和5年	増減数	増減率
件数(件)	300,839	307,930	+7,091	+2.4%
死 者 数 (人)	2,610	2,678	+68	+2.6%
負傷者数(人)	356,601	365,595	+8,994	+2.5%

（３）全国の交通事故発生件数上位10位の状況

発生件数は東京都が最も多く、以下大阪府、愛知県、神奈川県、福岡県の順になっています。
死者数は、大阪府が最も多く、以下愛知県、東京都、千葉県の順になっています。

	東京	大阪	愛知	神奈川	福岡	静岡	埼玉	兵庫	千葉	群馬
件数	31,385	25,951	24,547	21,870	20,173	18,662	17,002	16,281	13,564	10,038
死 者 数	136	148	145	115	103	70	122	103	127	47
負傷者数	34,870	30,097	28,990	25,644	25,699	23,573	20,221	19,113	16,259	12,377
発生件数の順位	1	2	3	4	5	3年	4年	5年	9	10
死者数の順位	3	1	2	7	8	12	6	8	5	20

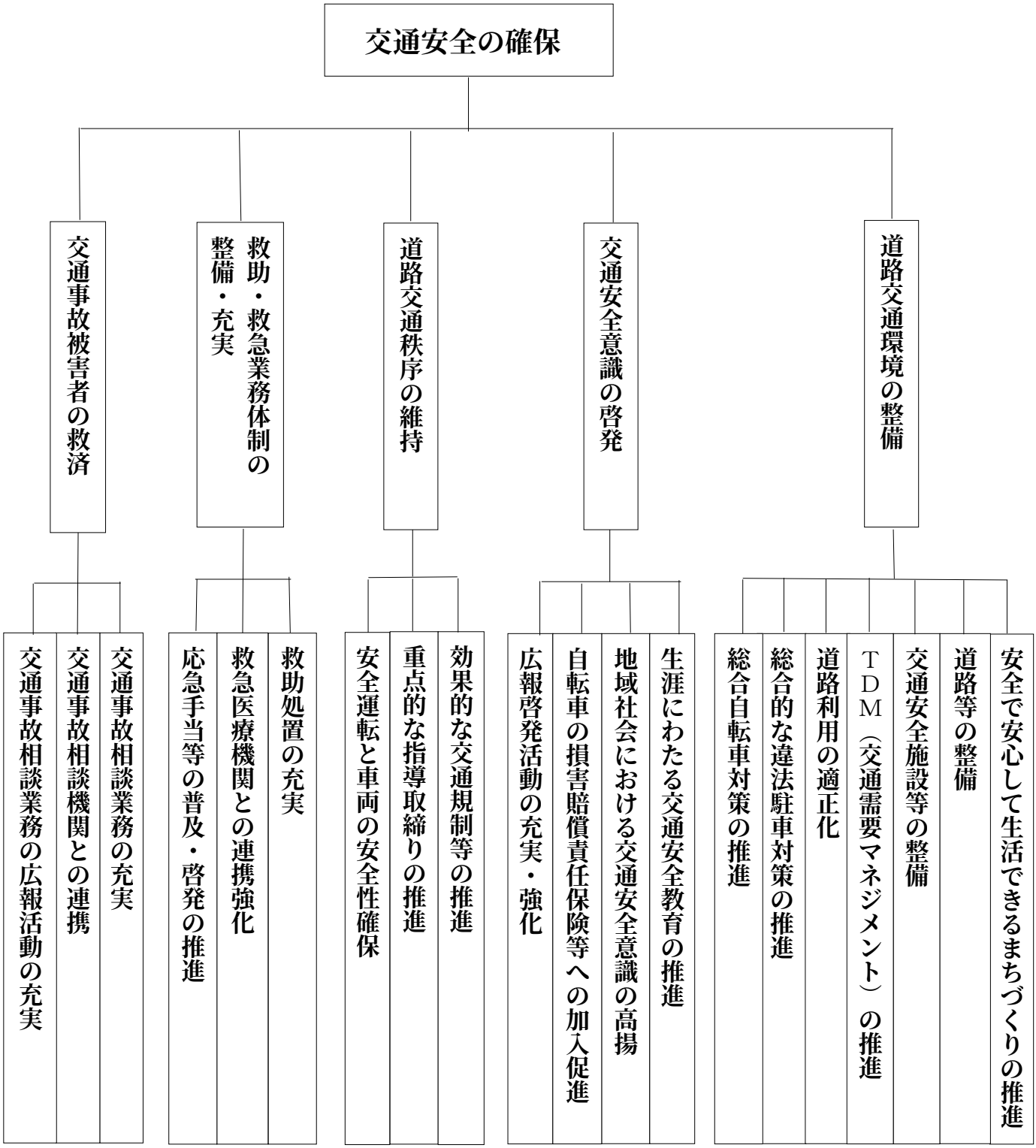
東京の交通事故より
※表は、発生件数順

Ⅲ 交通安全対策

1　交通安全対策の体系

江戸川区は、第９次江戸川区交通安全計画（令和３年度～令和７年度）に基づき、関係機関相互の緊密な連携のもとに交通安全対策に取り組み、交通事故の防止に努めています。

《交通安全計画の体系図》



2 交通安全対策の推進

(1)江戸川区交通安全連絡協議会

江戸川区交通安全連絡協議会は、警察（交通管理者）、消防、国、都、区の道路管理者、交通安全協会、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の関係者、くすのきクラブ、東京トラック協会及び区関係部署で構成しています。

(2)交通安全協会への補助

小松川・葛西・小岩交通安全協会に対し、交通安全思想の普及徹底のために、補助金（各交通安全協会　１,２００,０００円）を交付しました。

3 道路交通環境等の整備

道路整備は、以下のことを基本に進めています。

① 安全で円滑な道路交通を確保するために広域幹線道路、地域幹線道路、橋梁等の整備を推進する。

② 歩行者の安全確保、やすらぎを感じる道路空間・質の向上を図る。

③ 安全で快適な道路にするために道路使用及び占用の抑制、不法物件等の排除、違法駐車・放置自転車対策の推進と交通安全施設を整備する。

(1)道路の現況

令和６年４月１日現在

種　別	延　長	面　積	管　理	備　考
国　道	11,008m	307,822㎡	国・都	
	3,025m	112,614㎡	東日本高速道路㈱	自動車専用道路
都　道	61,137m	1,413,284㎡	都	
	16,120m	437,093㎡	首都高速道路㈱	自動車専用道路
区道（認定外含む）	1,069,147m	7,331,634㎡	区	
合　計	1,160,437m	9,602,447㎡	――――	――――――――――

江戸川区土木施設現況調書より

(2)道路環境の整備

令和６年４月１日現在

種　　別	延　　長	種　　別	数　　量
歩道（のべ延長）	428,402m	街　路　灯	33,461 基
自転車歩行者専用道路	101 路線 56,758m	ブリンカーライト	128 基
緑道（親水緑道含む）	70,973m	橋　梁　灯	343 基
河川溝渠転落防止柵	12,697m	歩行者用防護柵	235,593m

江戸川区土木施設現況調書より

(3)交通安全施設の整備

令和６年４月１日現在

種　　別		数　　量	種　　別	数　　量
道　路　標　識		2,514 本	交　差　点　改　良	5,811 箇所
内訳	警　戒　標　識	1,316 本	視　線　誘　導　標	5,045 本
	規制指示標識	218 本	交差点表示板（内鋲）	1,614 個
	案　内　標　識	731 本	すべり止め舗装	47,138 ㎡
	道路愛称名標識	249 本	横断歩道橋（国道 5 都道 30 区道 11）46 橋	
カーブミラー		2,918 本	人道橋（管理者江戸川区 8 江東区 2）10 橋	

江戸川区土木施設現況調書より

(4)交通規制の現況

令和６年４月１日現在

種　　別	設置箇所	延　　長
交通信号機	763 基	――――――
視覚障害者用信号機	（内数）34 基	――――――
一　時　停　止	7,068 箇所	――――――
一　方　通　行	1,010 路線	267,247m
通　行　禁　止	441 路線	3,774,622m
歩行者横断禁止	21 路線	51,683m
自転車歩道通行可	77 路線	91,956m
横　断　歩　道	6,171 箇所	――――――

各警察署の現況届より

(5)違法駐車対策の推進

平成４年 10 月に「江戸川区違法駐車等の防止に関する条例」を制定し、住民・警察等と一体となって違法駐車をなくす運動を推進しています。

① 江戸川区違法駐車防止連絡協議会（平成４年９月７日設置・77 団体）
平成 26 年度より、総会は環境をよくする運動中央大会に移行しました。

② 違法駐車抑止気運の高揚策

ア 環境をよくする地区大会に参加 令和５年５月 20 日～11 月 26 日
５月 20 日東部地区
８月 17 日葛西地区
11 月 23 日中央地区
11 月 25 日小岩地区
11 月 26 日小松川・平井地区実施
他 鹿骨地区 不参加
※大会の目的が違法駐車対策ではなく、環境保全への関心と理解を深める内容に変更となったため。

イ 違法駐車防止パトロール １地区 17 回 239 人参加

ウ 各地域イベント等でのＰＲ 15 回

エ 交通安全指導員によるパトロール のべ 544 回

③パーキングメーターの設置状況

設置場所(3 か所)	設置数(機)	
	令和６年	令和５年
(1)葛西事務所西側道路	65	65
(2)東西線葛西駅北側	9	9
(3)東小岩（都道 307 号線）	19	20
合 計	93	94

各年 4 月 1 日現在

④ 違法駐車の状況

ア 瞬間違法駐車台数の推移（令和６年３月自治体別駐車概要より）

調査日時：令和５年１０月１８日(水)
時 間 帯：午後１時から５時までの間
調査区域：都内全域（島部を除く）の道幅 4.5m以上の一般道

	違法駐車台数
令和５年度	2,147 台
令和４年度	2,042 台
増　減　数	＋105 台
増　減　率	＋5.1%

イ 瞬間路上駐車実態

総　　数	2,147 台
合　　法	308 台
合 法 率	14.3%
違　　法	1,839 台
違 法 率	85.7%

違法駐車	1,839 台
乗用車台数	813 台
乗用車割合	44.2%
貨物車台数	1,026 台
貨物車割合	55.8%

(6)自転車対策

区内全駅（京成江戸川駅を除く）に駐輪場を整備し、駅周辺の駐輪秩序を保持するとともに、放置自転車防止の啓発や撤去活動を通して、利用者に自転車の適正利用を働きかけています。

① 駐輪場利用状況　令和５年度

駅　　名	駐輪場（個所）	収容台数（台）	利用台数（１日平均）	利用率（%）
京成小岩	5	1,823	1,163	63.80%
平　　井	4	4,078	3,137	76.92%
小　　岩	4	5,670	3,987	70.32%
東大島	1	1,200	318	26.50%
船　　堀	5	4,000	3,280	82.00%
一之江	3	4,636	3,820	82.40%
瑞　　江	6	6,820	6,156	90.26%
篠　　崎	2	3,900	3,352	85.95%
西葛西	5	6,150	4,735	76.99%
葛　　西	3	9,800	7,021	71.64%
葛西臨海公園	2	3,370	2,059	61.10%
合　　計	40	51,447	39,028	75.86%

② 放置自転車の撤去（令和５年度）

駅　　名	撤去台数	駅　　名	撤去台数	駅　　名	撤去台数
京成小岩	207 台	船　　堀	1,077 台	西葛西	1,979 台
平　　井	783 台	一之江	535 台	葛　　西	1,643 台
小　　岩	1,396 台	瑞　　江	670 台	臨　　海	71 台
東大島	49 台	篠　　崎	577 台	合　　計	8,987 台

③ キャンペーン等の効果的な取り組み

地域住民との合同啓発活動

○小岩駅周辺迷惑駐輪パトロール（毎月第二木曜）… 環境を良くする小岩地区協議会

○平井ふれあい道路パトロール（毎月１回）

…平井親和会商店街振興組合、平井東自治会、平井中央自治会、平井一丁目南親会、平井一丁目東町会、平井二丁目町会、平井三丁目自栄会、平井四丁目南町会、平井五丁目協和会

(7)交通事故防止対策の要望対応状況

区民等からの交通事故防止策の要望に対して、現地調査を行い必要な対策を実施しました。

内訳 ＼ 年度	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
注意啓発要望	96 件	130 件	121 件	142 件	104 件
安全施設要望	162 件	177 件	161 件	171 件	155 件
合　　計	258 件	307 件	282 件	313 件	259 件

(8)交通安全資器材の交付状況

警察署、交通安全協会等からの要望に基づき、春･秋の交通安全運動等に随時交通安全用資器材を交付しました。

【資　機　材】

横断幕	3 枚	垂れ幕	31 枚
懸垂幕	0 枚	横　幕	60 枚

●春の交通安全運動に小岩警察署２枚・秋の交通安全運動に葛西署に１枚横断幕を配布しました。

●春・秋の交通安全運動に小松川警察署に 31 枚垂れ幕を配布しました。

●秋の交通安全運動に小岩警察署に 60 枚横幕を配布しました。

(9)交通安全教育の推進

警察署と連携して交通安全教育を推進しました。

●自転車運転免許教室の実施（小学校）　66 校　5,470 人
●交通安全教室　31 回　5,231 人
（中学生・未就学児・保護者・熟年者）

4 交通安全教育の普及徹底と広報活動の充実

区では、各警察署、交通安全協会とともに幼稚園・保育園・学校等での交通安全教育、啓発・広報活動を通じて、区民の交通安全意識の向上に努めています。

(1)交通安全教育の基本と事業の推進状況

※交通安全施策推進組織については、令和6年4月1日現在。

対象	交通安全教育の基本	実施状況	事業の推進	交通安全施策推進組織
幼児	幼稚園・保育園における交通安全教室 ◎日常の中での安全教育及び安全教室 地域における交通安全	交通安全教室 区 19回 1,461人 警察 51回 4,659人	春・秋運動要領 185枚 ストップマーク 397枚 反射材 1256個 新入学チラシ 5,112枚 一声運動垂れ幕 35枚	
児童・生徒	学校における交通安全 ◎新入学児童の横断歩行指導 ◎交通安全教室 ◎自転車の乗り方 ◎教育課程に位置づけた指導 ◎交通安全指導者の育成 ◎地域遊び場での体験学習	黄色ワッペン (金融機関等提供) 交通安全下敷き (トラック協会提供) 交通安全教室（警察） 小学生 62回 7,547人 中学生 8回 155人 高校生 4回 4,115人 保護者 5回 209人 計 79回 12,026人 自転車教室（警察） 小学生 80回 8,185人 中学生 12回 3,569人 高校生 3回 342人 計 95回 12,096人 自転車運転免許教室 小学校 66校 5,470人 毎月10日は「交通安全の日」 交通安全一声デー	春・秋運動要領 110枚 ストップマーク 298枚 中学生に対する自転車交通安全教室（スタントマン） (人) 4/14（金）小松川第二 514 5/26（金）小岩第二 520 6/6（火）瑞江第二 388 9/28（木）篠崎第二 486 9/29（金）清新第二 250 10/3（火）松江第六 280 10/12(木) 葛西 520 11/28(火) 小岩第三 536 2/29（木）松江第二 297 合計9校 3,791人 のぼり旗掲出	自転車部会 小松川 14人 小岩 3人 17人

対象	交通安全教育の基本	実施状況	事業の推進	交通安全施策推進組織
児童・生徒	**地域・家庭における交通安全**			女性部会 小松川　11人 葛　西　8人 小　岩　8人 計　27人 交通少年団 小松川　48人 葛　西　30人 小　岩　53人 計　131人
	◎交通安全意識の向上		広報えどがわ掲載 各号 12回	
	◎交通安全地域活動	環境をよくする地区活動		
	◎交通安全指導者の育成	交通少年団の育成		
	◎春・夏休みの交通安全	広報活動	交通安全運動ポスター 107枚 全国運動垂れ幕　98枚 一声運動垂れ幕　98枚	
	◎環境の良い街づくり	葛西地区暴走族対策連絡会 役員会　5/19 大会　6/12開催		
	◎放置自転車の追放	違法駐輪の撤去 8,987台撤去		
成人	**運転者（免許取得者）の交通安全**			二輪車（原付）交通安全グループ 小岩　11人 交通安全協会 小松川　637人 葛　西　408人 小　岩　596人 計　1,641人 青年部会 小松川　16人 葛　西　11人 小　岩　8人 計　35人
	◎安全運転啓発活動	運転者講習会（警察） 20回　791人	二輪車運転者ミニチラシ 59,000枚	
	◎交通事故の責任と賠償	事故防止街頭指導		
	◎二輪車安全運転	二輪車運転者講習会(警察) 22回　503人	広報えどがわ掲載 1回	
	◎飲酒運転撲滅	二輪車運転者街頭指導 飲酒運転させないキャンペーン	ＴＯＫＹＯ交通安全キャンペーン ポスター　700枚 パンフレット　750枚 暴走族追放強化期間ポスター 150枚	
	地域・家庭における交通安全			
	◎交通安全思想の普及・拡大	広報活動 春・秋・年末交通安全運動 （安協・町会等広報活動 テント拠点 154ヵ所）		

対象	交通安全教育の基本	実施状況	事業の推進	交通安全施策推進組織
成人	◎地域･家庭の参加			地域交通安全活動推進委員 小松川 20人 葛　西 23人 小　岩 23人 計　66人
	◎環境の改善	環境をよくする地区大会 違車防止重点地域パトロール 地域での違法駐車防止自主活動 鍵かけキャンペーン 6/3（土）～15（木） 10/3（火）～10（火） クリーンキャンペーン 10/22(日)～31(火)	ポスター　50枚 リーフレット　1,100枚 ポスター　46枚 春・秋運動要領　8枚	
	◎民間活力の活用	トラック協会江戸川支部会 館内交通安全教室		
	事業所における安全教育			
	◎安全運転管理者の設置	管理者講習会（警察） 6回　319人		安全運転管理者部会 小松川 111人 葛　西 410人 小　岩 10人 計　531人
	◎事業所巡回指導	事業所運転者講習会(警察) 22回　1,306人		
	◎安全運動講習会 ◎交通安全指導者の育成	正面玄関反射材配布	反射材　205個	
熟年者	熟年者に対する安全教育		春・秋運動要領　230枚	高齢者交通指導員 小松川 14人 葛　西 17人 小　岩 10人 計　41人
	◎家庭での話し合い	一人暮らし熟年者訪問活動		
	◎各種行事等での安全教室	熟年者の交通安全教室 警察　11回　541人 区　3回　160人		
	◎事業所･ｻｰｸﾙでの啓発活動	熟年者の自転車教室 警察　5回　199人		
	◎保健医療関での安全教育			
	◎交通安全指導者の育成	正面玄関反射材配布	反射材　160個	

(2)春・秋の全国交通安全運動

①期間・運動のスローガン・重点等

期間	春：令和5年5月11日(木)から 5月20日(土)まで	秋：令和5年9月21日(木)から 9月30日(土)まで
スローガン	世界一の交通安全都市ＴＯＫＹＯを目指して	
重点	① こどもを始めとする歩行者の安全確保 ② 横断歩行者事故等の防止と安全運転意識の向上 ③ 自転車のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底 ④ 電動キックボード等の交通ルール遵守の徹底 ⑤ 二輪車の交通事故防止	① こどもと熟年者を始めとする歩行者の安全の確保 ② 夕暮れ時と夜間の交通事故防止及び飲酒運転等の根絶 ③ 自転車等のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底 ④ 特定小型原動機付自転車（いわゆる「電動キックボード等」）の交通ルール遵守の徹底 ⑤ 二輪車の交通事故防止

②広報・安全教育・行事等活動状況

		春	秋
広報活動	啓発活動	区ビデオ広報 区広報えどがわ 各施設啓発館内放送	区ビデオ広報 区広報えどがわ 各施設啓発館内放送
	ポスター	700枚	700枚
	パンフレット・チラシ等	750枚	750枚
	垂れ幕・横断幕等	2枚（警察交付枚数のみ）	87枚（警察交付枚数のみ）
交通安全教育	学校・保育所等	実施　7箇所　495人	実施　4箇所　771人
	社会教育、福祉施設	実施　0箇所　0人	実施　0箇所　0人
	その他民間団体	実施　0箇所　0人	実施　0箇所　0人
	合　計	実施　7箇所　495人	実施　4箇所　771人
施策・行事	江戸川区三警察署・安協	・交通事故防止キャンペーン ・運転者講習会　他	
	小松川警察署・安協	・サタデーバイクスクール ・地域別交通安全講習会　他	・ジュニア eye キャンペーン ・反射材直接貼付　他
	葛西警察署・安協	・セーフティロード作戦 ・トラックストップ作戦　他	・セーフティロード作戦 ・二輪車ストップ作戦　他
	小岩警察署・安協	・二輪車ストップ作戦 ・自転車整備キャンペーン他	・二輪車ストップ作戦 ・自転車整備キャンペーン　他

Ⅳ 交通事故救済業務

1　救急･救助活動等

江戸川・小岩・葛西消防署は、交通事故等による受傷者の救急活動を行っています。
また、受傷者の救命効果を高めるため、区民に対して応急救護知識・技術の習得を目的とした講習会も行っています。

(1)交通事故救急出動件数及び救護人員

(人)

項目／年	救急出動回数(交通事故)	救護人員	救護人員の内訳					現場処置
			軽傷	中等傷	重症	重篤	死亡	
令和５年	2,137	1,855	1,451	357	33	10	4	0
令和４年	2,016	1,707	1,360	300	36	10	1	1

江戸川・小岩・葛西消防署合計

※　軽　傷：簡易で入院を必要としないもの
　　中等傷：生命の危険はないが、入院を必要とするもの
　　重　症：生命の危険が強いと認められるもの
　　重　篤：生命の危険が切迫しているもの
　　死　亡：初診時死亡が確認されたもの

(2)応急救護知識・技術の講習会受講者数

(人)

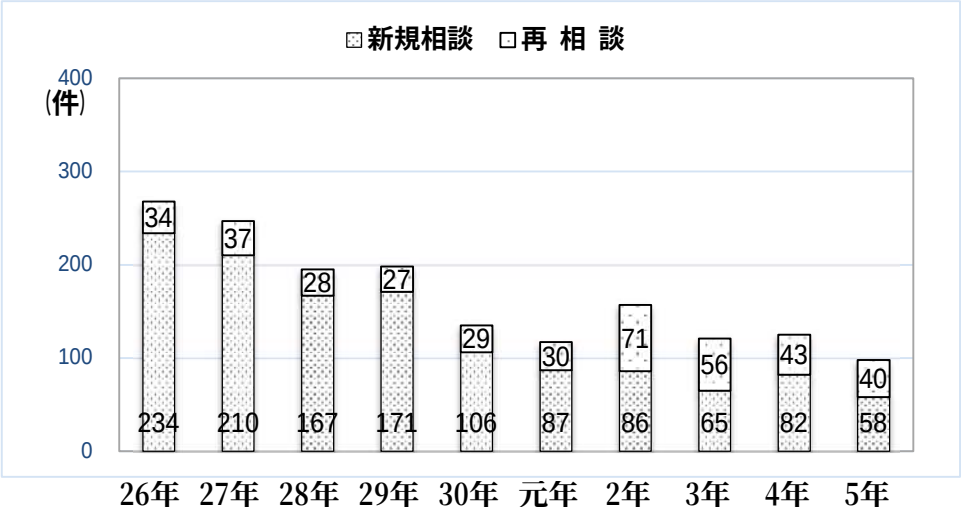
年＼項目	合　計	学校関係	町会自治会	事業所関係	その他
令和５年	6,972	1,958	1732	1,623	1,659
令和４年	6,324	1,800	589	1,757	2,178

江戸川・小岩・葛西消防署合計

2　交通事故相談の概要

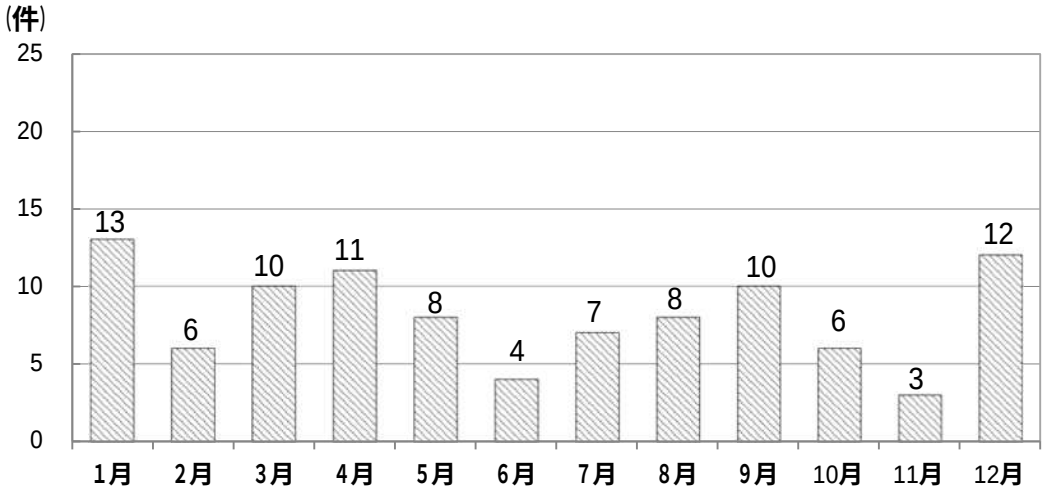
江戸川区は、昭和４７年７月から交通事故相談員を常駐させて区民からの交通事故に係る困りごとや疑問に応えています。
相談員は資料や判例を参考に、解決への筋道をわかりやすく相談者に説明指導することにより、円満な解決の援助に努めています。
なお、平成９年４月から電話予約制（１日４人受付）を取り入れ、相談に応じています。

(1) 相談件数の年次別推移



種別 ／年次	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年
新規相談	234	210	167	171	106	87	86	65	82	58
再 相 談	34	37	28	27	29	30	71	56	43	40
総　数	268	247	195	198	135	117	157	121	125	98

(2) 月別相談件数

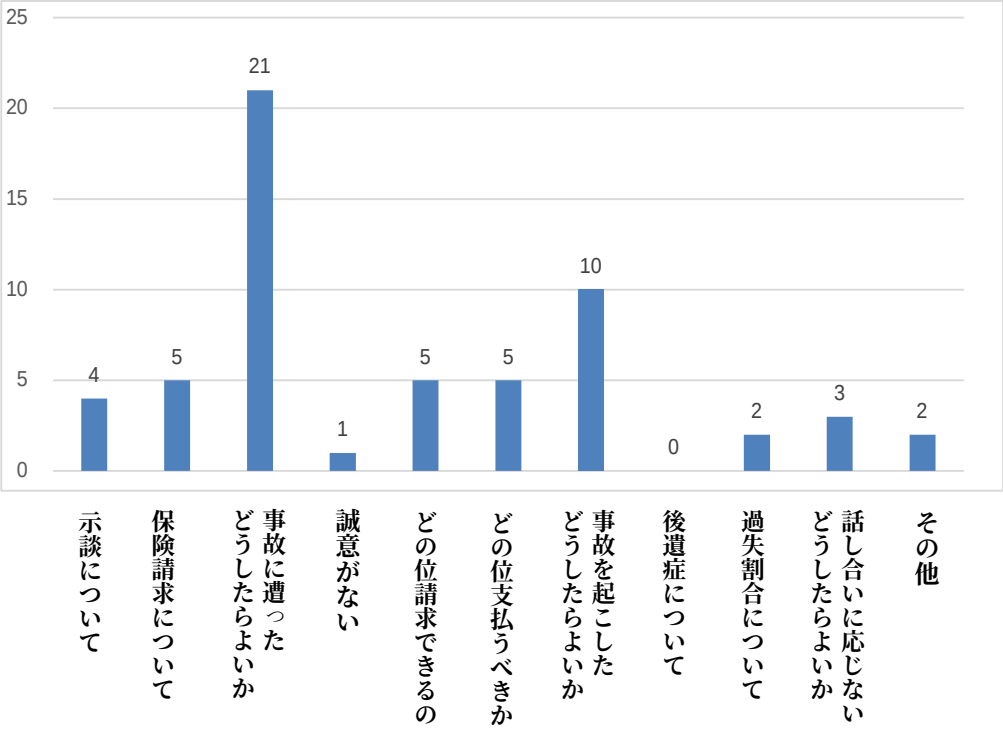


区分＼月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
総　数		13	6	10	11	8	4	7	8	10	6	3	12	98
新規相談		6	1	4	5	5	3	5	8	7	4	2	8	58
内訳	来 室	1	0	0	2	1	0	4	2	3	3	1	4	21
	電 話	5	1	4	3	4	3	1	6	3	1	1	3	35
	オンライン	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
再 相 談		7	5	6	6	3	1	2	0	3	2	1	4	40
内訳	来 室	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	4
	電 話	6	5	6	6	2	1	1	0	3	1	1	4	36

(3) 相談者の内訳

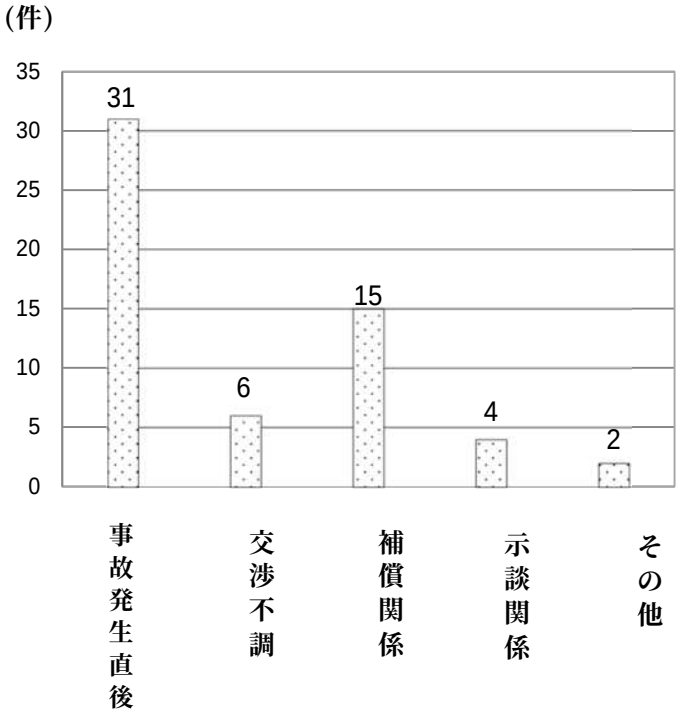
内訳 ＼ 件数	相談総数	新規相談	再来相談	来室相談	電話相談	オンライン	加害者	被害者	新規男女別		新規来室(22名内訳)			
									男性	女性	区内在住者	区外在住者	区内事故	区外事故
件数	98	58	40	25	71	2	33	65	26	32	21	1	21	1
構成率(%)	100.0	59.2	40.8	25.5	72.4	2.0	33.7	66.3	44.8	55.2	95.5	4.5	95.5	4.5

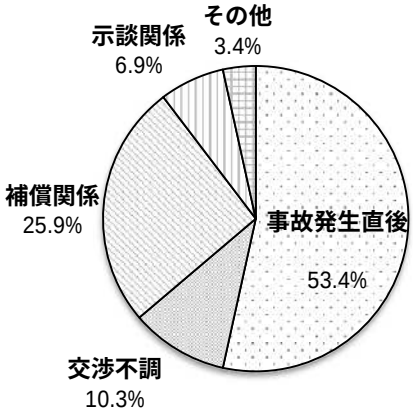
(4) 新規相談の内容 (その1)



内訳 ＼ 件数	示談について	保険請求について	事故にあったどうしたらよいか	誠意がない	どの位請求できるのか	どの位支払うべきか	事故を起こしたどうしたらよいか	後遺症について	過失割合について	話し合いに応じないどうしたらよいか	その他	新規合計
件数	4	5	21	1	5	5	10	0	2	3	2	58
構成率(%)	6.9	8.6	36.2	1.7	8.6	8.6	17.2	0.0	3.4	5.2	3.4	100.0

(5)新規相談の内容(その２)



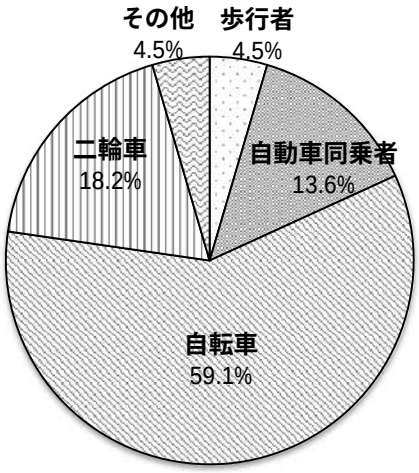


新規相談内容の割合

内容別	事故発生直後	交渉不調	補償関係	示談関係	その他	合計
件数	31	6	15	4	2	58
構成率(%)	53.4	10.3	25.9	6.9	3.4	100.0

(6)新規来室相談者の当事者別件数

項目／内容	件数	構成率
歩行者	1	4.5
自動車同乗者	3	13.6
自転車	13	59.1
二輪車	4	18.2
その他	1	4.5
合計	22	100.0



新規相談の当事者割合

3 区民交通傷害保険

(1)令和５年度区民交通傷害保険の加入状況について

①加入者数：8,031人(加入率 ⇒ 令和5年4月1日現在人口の約1.2%)

(コース別内訳)

コース		保険料(年額)	最高補償金額 傷害	最高補償金額 自転車	加入者数	保険金額	加入割合
自転車賠償	XJ	1,400円	35万円	1億円	3,665人(28人)	5,131,000円	45.6%
	AJ	1,900円	150万円		1,969人(13人)	3,741,100円	24.5%
	BJ	2,500円	350万円		966人(8人)	2,415,000円	12.1%
	CJ	3,500円	600万円		882人(3人)	3,087,000円	11.0%
	小計				7,482人(52人)	14,374,100円	93.2%
傷害のみ	A	900円	150万円		284人(8人)	255,600円	3.5%
	B	1,500円	350万円		155人(1人)	232,500円	1.9%
	C	2,500円	600万円		110人(2人)	275,000円	1.4%
	小計				549人(11人)	763,100円	6.8%
合　計					8,031人(63人)	15,137,200円	100%

(　)内　在勤者

(年齢別内訳)

年　齢	加入者数	加入割合
0歳～9歳	176	2.2%
10歳～19歳	411	5.1%
20歳～29歳	384	4.8%
30歳～39歳	456	5.7%
40歳～49歳	812	10.0%
50歳～59歳	1,141	14.2%
60歳～69歳	1,269	15.8%
70歳～79歳	2,175	27.1%
80歳～89歳	1,147	14.3%
90歳以上	57	0.7%
不明	3	0.1%

②保険期間

令和５年７月１日から令和６年６月３０日まで(１年間)

※申込期間：令和５年５月１日（月）～６月３０日（金）

令和5年5月からＷＥＢでの申込も開始した。さらにＷＥＢでの申込のみ途中加入が可能となった。

③引受保険会社

損害保険ジャパン㈱

江戸川区は、「ともに生きるまち」を目指して
SDGsに取り組んでいます

交通安全のまとめ

令 和 6 年 版

（令和 5 年交通統計）

令 和 6 年 8 月 発 行
江 戸 川 区 土 木 部
施設管理課 交通安全推進係
☎ 5662-1998